

岩手県高等学校野球連盟

岩手に野球が伝わったのは明治9年、岩手種馬所の一条牧夫所長が種馬の買い付けに渡米したみやげに、野球用具を持ち帰ったのが最初だという。県野球協会長沢雄二氏が一条牧夫氏のご子息、一条友吉氏から直接聞いた話として伝わる。明治13年に設立された盛岡中学に程なく野球が導入され、明治19年には盛岡中学の運動会競技種目の1つとしてベースボールが登場する。盛岡中は明治32年8月、仙台中と試合(仙台市内：盛岡中3-1仙台中：3回雨天中止)を行っている。また明治35年一関中と対戦し32対2で勝利した後、明治37年には遠野中と八戸中、38年大館中、39年仙台二中に勝利するなど41年まで無敗であったと記録にある。42年8月には遠征してきた大館中に0-1で破れたが翌年には遠征し4対2で勝利している。明治44年、45年には旧制二高主催の東北連合野球大会が開催され、ユニホームの胸に「TORYO」の文字を入れた盛岡中が連覇している。明治31年開校の一関中は、明治35年の盛岡中との試合の後も毎年同中学との試合を重ねるが、36年27対16、37年22対2で敗れる。この後一関中は猛練習を重ね、盛岡中から初勝利をあげたのは20回目の対戦となる大正5年の東北大会決勝戦であった。これにより一関中学は岩手県初の代表として選手権大会に出場することになる。大正期には両校が切磋琢磨し、輝かしい戦績を残す事になる。(以下略「記念誌」等より抜粋)これらの記述が選手権大会以前の記録として残る)

《岩手県の所属する東北地区の選手権予選大会の変遷》

1回～5回	6回～10回	11回～19回	20回～39回	41回～54回	56回～現在
<p>・東北大会 東北6県と北海道から1代表</p>	<p>・東北大会 東北6県から1代表</p> <p>(6回から北海道大会が独立開催)</p>	<p>・奥羽大会 (青森 秋田 山形) ・東北大会 (宮城 福島 岩手)から各1代表</p>	<p>・奥羽大会 (青森 秋田 岩手) ・東北大会 (宮城 福島 山形)から各1代表</p>	<p>・北奥羽大会 (青森 岩手) ・西奥羽大会 (秋田 山形) ・東北大会 (宮城 福島)から各1代表 (41回から北海道地区が南北2大会開催になる)</p>	<p>・各県大会 各県から1代表</p>
東北地区代表数 1※	1	2	2	3△	6

※北海道地区を含む △40回、45回、50回、55回大会は記念大会のため、各県1代表

本社主催 全国優勝野球大会
来る八月中旬豊中に於て舉行 各地代表中等學校選手権仕合

野球技の一度我國に來りてより未だ幾何ならざるに今日の如き隆盛を觀るに至れるは、同技の男性的にして而も其の興味と其の技術とが著しく我國民性と一致せるに依るものなるべし、殊に中學程度の學生間に最も普く行はれつつありて、東海5縣大会關西大會等を始めとし各地に其の聯合大會の擧を見ざるなきに至れり、然も未だ**全國の代表的健児**が一場に會して澆瀨たる妙技を競ふ全國大會の催しあるを見ず、本社はこれを遺憾とし茲に左(※)の條件に依り夏季休暇中の八月中旬をトし、全國各地方の中等學校中より**其代表野球團**、即ち各地方を代表せりと認むべき野球大會に於ける**最優勝校を大阪に聘し豊中グラウンドに於て全國中等學校野球大會**を行ひ以て其選手権を争はしめんとす(詳細は逐次發表)

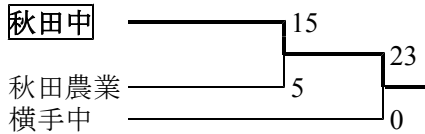
1. 參加校の資格はその地方を代表せる各府縣聯合大會に於ける優勝校たる事
1. 優勝校は本年大會に於て優勝権を得たるものたること
1. 選手の往復汽車又は汽船賃は主催者に於て負擔する事

(大正4年7月1日-4日 大阪朝日新聞第1面より)

(※)実物は縦書きのため

大正4年 1915年 (第1回全国中等学校優勝野球大会)

第1回全国中等学校野球大会東北大会(7月28日～29日：秋田県大曲町)

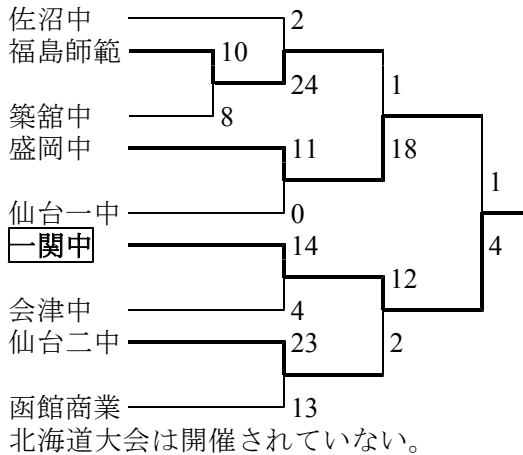


※東北大会は開催されていない。秋田県だけが予選を行っている。

全国大会には秋田中が出場(8月18日～23日：豊中球場)
 準々決勝 秋田中 9 - 1 山田中
 準決勝 秋田中 3 - 1 早稲田実
 決勝戦 秋田中 1 - 2 京都二中(延長13回)

大正5年 1916年 (第2回全国中等学校優勝野球大会)

第2回全国中等学校野球大会東北大会(8月1日～3日：旧制仙台二高)
 (実質的に第1回東北大会である)



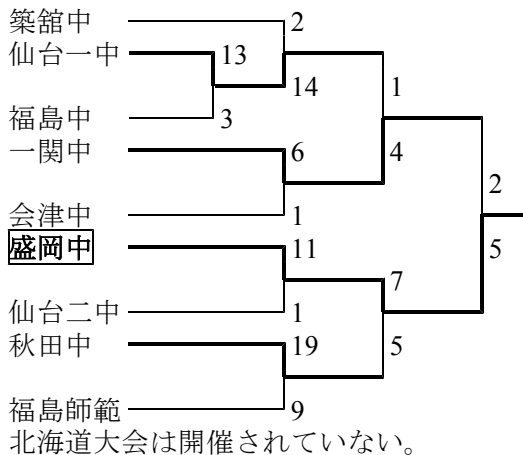
全国大会(豊中球場)には一関中学が出場
 8月15日抽選会：大朝社
 (8月16日～20日)

一関中学の宿舎「山水樓」
 1回戦8月16日第3試合
 一関中 3 - 2 京都二中
 2回戦8月18日 11:30～14:30
 一関中 0 - 8 市岡中
 一関中学は粒針監督
 大会に衛生顧問医師をおく。(衛生面だけでなく
 スポーツ医学分野への導入となる)
 全国大会で敗者復活戦を導入
 (第2回・第3回大会のみ)

◎岩手県チームの全国大会イニングスコアは「選手権選抜の対戦結果」に掲載。

大正6年 1917年 (第3回全国中等学校優勝野球大会)

第3回全国中等学校野球大会東北大会(8月2日～6日：旧制仙台二高)

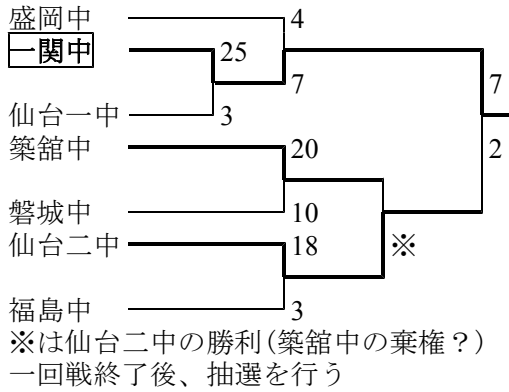


全国大会(鳴尾球場)には盛岡中が出場
 8月14日～20日
 1回戦
 盛岡中 5 - 1 香川商
 2回戦
 盛岡中 2 - 1 慶応普通
 準決勝
 盛岡中 0 - 1 関西学院
 盛岡中：関監督、斉藤彰部長

北海道大会は開催されていない。

大正7年 1918年 (第4回全国中等学校優勝野球大会)

第4回全国中等学校野球大会東北大会(8月5日～7日：仙台二高)

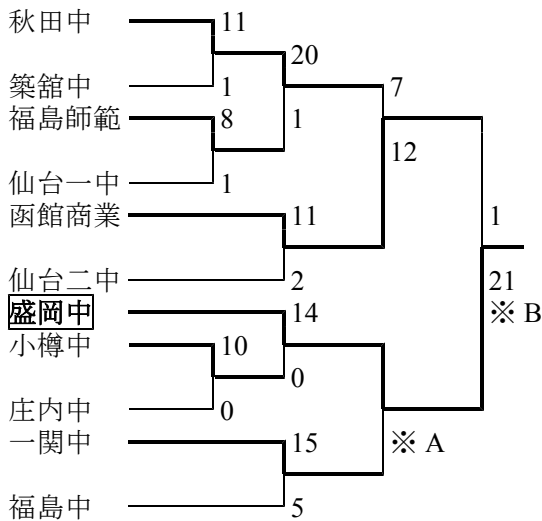


全国大会は一関中が出場権を得る。
大会は8月14日からの予定であったが
米騒動のため本大会直前に中止となる。

当時各チームの滞在費は自弁であったが、
13日から16日の4日間の費用を朝日新聞が
負担した。

大正8年 1919年 (第5回全国中等学校優勝野球大会)

第5回全国中等学校野球大会東北大会(8月6日～9日：仙台二高)

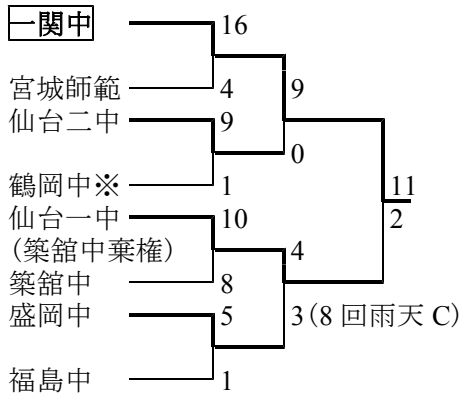


全国大会(鳴尾球場)には盛岡中が出場
8月13日～19日
1回戦
盛岡中4-3同志社中
2回戦
盛岡中1-0松山商
準決勝
盛岡中0-8神戸一中

※A 一関中は棄権(7回表 17対1)
※B 9回表の攻撃前に棄権との記事もあり。
北海道大会は開催されていない。

大正 9 年 1 9 2 0 年 (第 6 回全国中等学校優勝野球大会)

第 6 回全国中等学校野球大会東北大会(8 月 6 日～9 日：仙台二高)
5 日からの予定であったが、雨のため 6 日から開始。



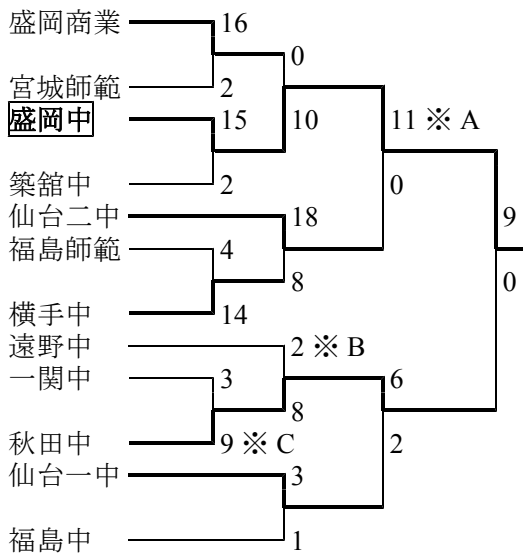
この年から北海道大会が開催される。
5 回以降雨天の場合コールドの規定有り

全国大会(鳴尾球場)には一関中が出場
8 月 1 3 日～1 9 日
1 回戦
一関中 2 - 6 明星商

※庄内中としている記事もあり。
築館中は組み合わせ中に棄権との記載もある。
1 回戦終了後抽選を実施していると思われる。
第 1 回北海道大会(参加校 6)が北大グラウンドで行われ、北海中が全国大会に出場する。

大正 1 0 年 1 9 2 1 年 (第 7 回全国中等学校優勝野球大会)

第 7 回全国中等学校野球大会東北大会(8 月 2 日～7 日：仙台二高)



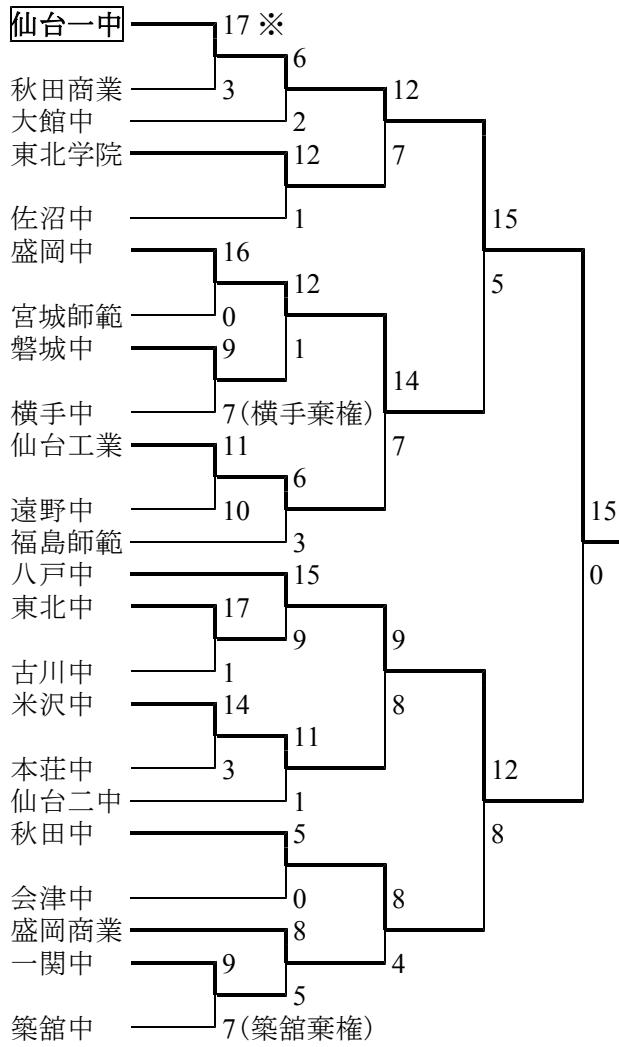
全国大会(鳴尾球場)には盛岡中が出場
8 月 1 4 日～1 8 日

1 回戦
盛岡中 5 - 4 市岡中
準々決勝
盛岡中 2 - 5 豊国中
本大会から選手の宿泊費も支給される

※ A : 1 2 対 0 や 1 1 対 2 ※ B 3 対 8 ※ C 3 対 1 0 や 3 対 7 との記載もあり。

大正12年 1923年 (第9回全国中等学校優勝野球大会)

第9回全国中等学校野球大会東北大会(8月3日～9日：東北体育協会グラウンド)開会式7：00

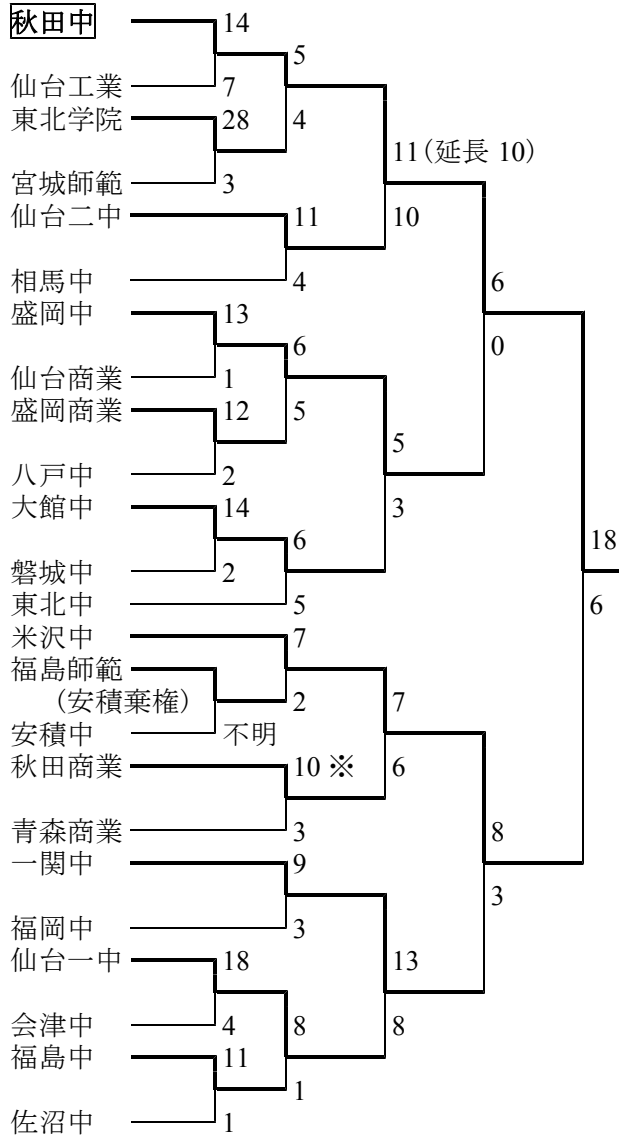


※ 16対3と記載する新聞もあり
 2回戦・3回戦の前に抽選を行う。
 参加24校と記載している新聞もある。

全国大会(鳴尾球場)には仙台一中が出場
 開会式で祝賀飛行が行われる。
 全国大会準決勝で観客がグラウンドになだれこみ、試合が中断される。
 2回戦 仙台一中 3 - 9 松江中

大正13年 1924年 (第10回全国中等学校優勝野球大会)

第10回全国中等学校野球大会東北大会(7月31日～8月6日:仙台体協グラウンド)
2回戦3回戦の前に抽選



全国大会(阪神甲子園球場)には秋田中が出場
この年7月に完成した阪神甲子園球場にて開催される。
2回戦 秋田中1 - 13松山商

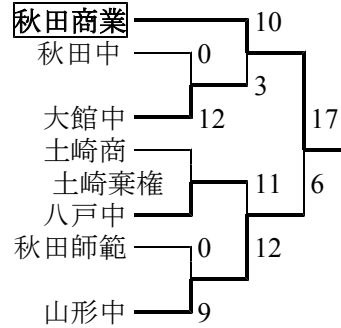
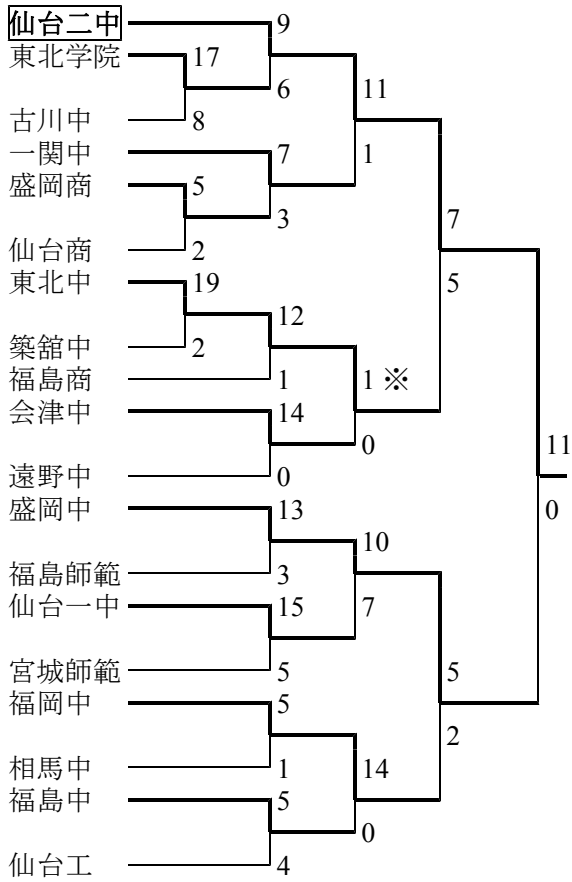
第1回選抜中等学校野球大会が開催される。

※7月(8月)に越後新聞主催の裏日本中学野球大会開催

大正14年 1925年 (第11回全国中等学校優勝野球大会)

第11回全国中等学校野球大会東北大会(1回)(8月3日～8月9日：仙台体協)
 東北大会が奥羽大会と東北大会に分かれる(東北六県から2代表)
 岩手・宮城・福島＝東北大会 青森・秋田・山形＝奥羽大会

<奥羽大会：秋田県檜山野球場>



※前日4対4引き分け再試合
 3回戦の前に抽選を行う

全国大会(阪神甲子園球場)には仙台二中が出場(奥羽大会では秋田商業が優勝)

国旗・大会旗の掲揚が始まる。

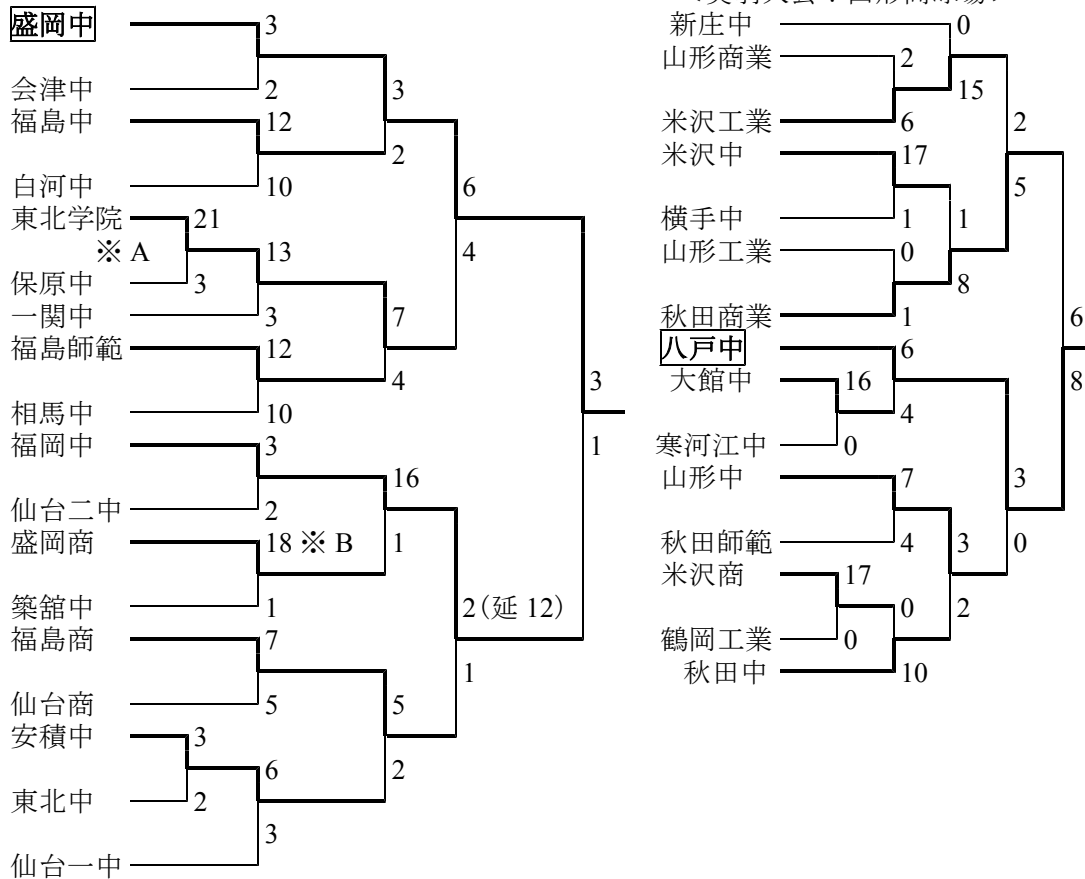
JOBK(ラジオ)が途中経過の放送を開始

1回戦 仙台二中0-6大連商

2回戦 秋田商業4-5敦賀商

大正15年・昭和元年 1926年 (第12回全国中等学校優勝野球大会)

第12回全国中等学校野球大会東北大会(2回)(7月28日～8月4日：福島高商グラウンド)
 <奥羽大会：山形高球場>



7月31日3回戦の前に抽選
 ※A 1対3 ※B 8対1 と記載している新聞もあり。
 ※8月1日 8月4日 雨天順延

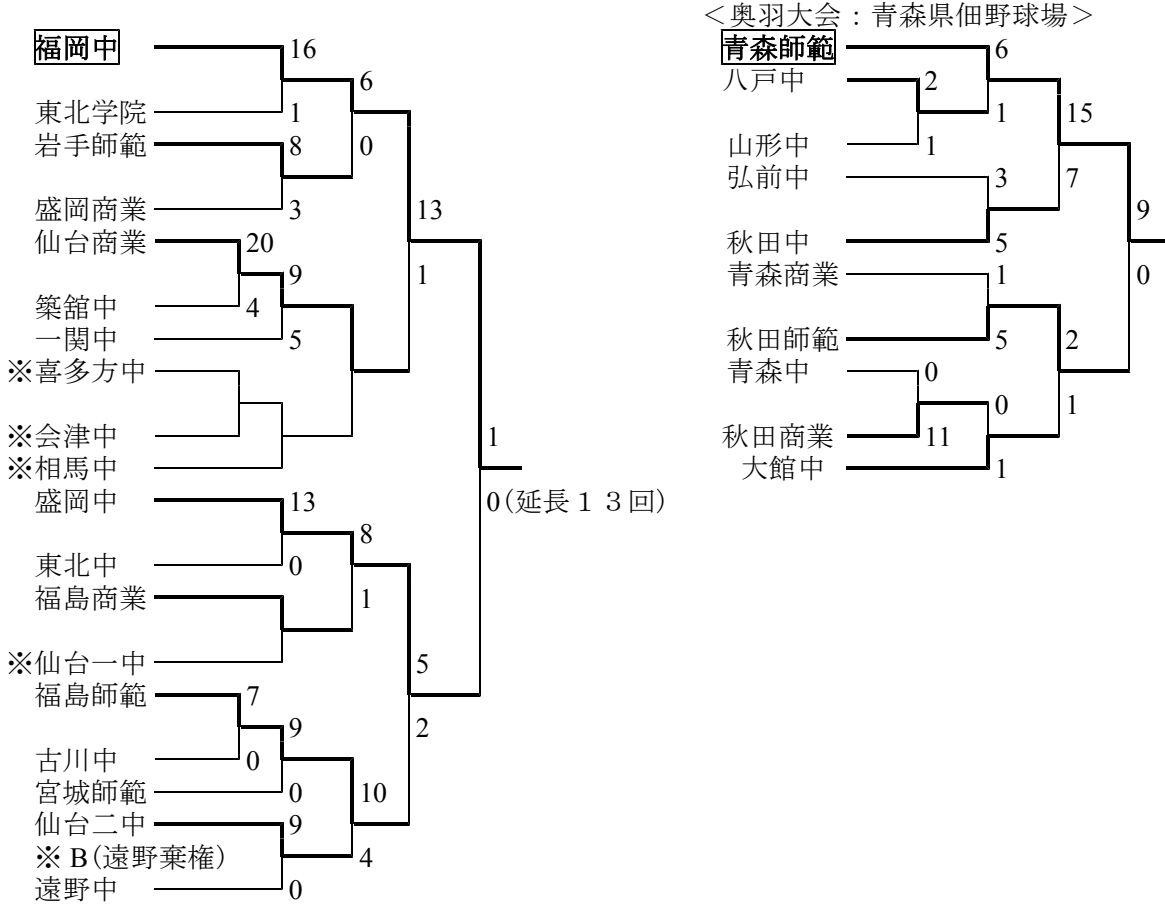
全国大会(阪神甲子園球場8月13日～20日)には盛岡中が出場(奥羽大会では八戸中が優勝)

- 1回戦 八戸中 2 - 4 東山中
- 2回戦 盛岡中 1 - 4 鳥取一中

大会歌「全国中等学校優勝野球大会の歌」(福武周夫作詞 信時潔作曲)を制定。この曲は第29回大会まで使用され、30回大会から「栄冠は君に輝く」が大会として使用される。

※6月に青森県体育協会主催の東北北海道野球大会が開催される。

第13回全国中等学校野球大会東北大会(3回)(7月29日~8月3日:盛岡中)



- 2回戦3回戦の前に抽選
- ※ 大会直前に不参加となる
- ※B 仙台二中12対1遠野中日没コールド。(前日も雨天中止)その後棄権を申し出たものと思われる。

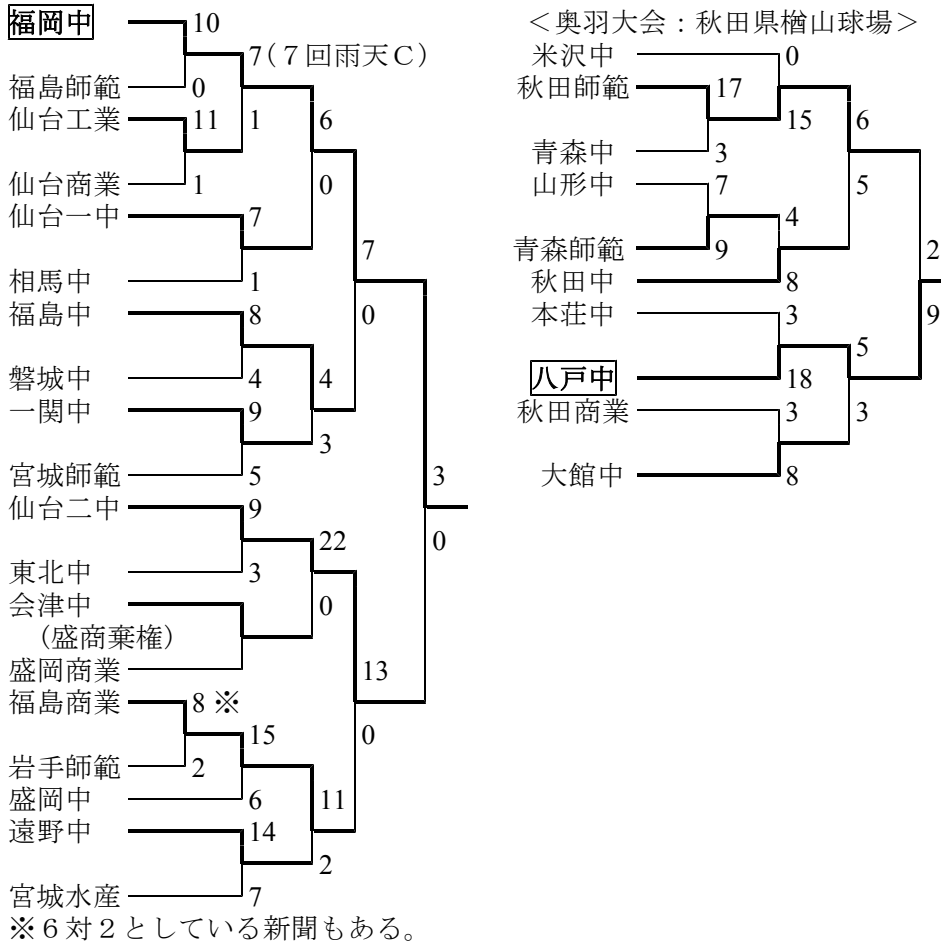
全国大会(阪神甲子園球場8月13日~20日)には福岡中が出場(奥羽大会では青森師範が優勝)

- 1回戦 青森師範1-4札幌一中
 - 2回戦 福岡中4-1桐生中
 - 3回戦 福岡中0-1高松商(延長12回) 初の満塁策(9回裏1死3塁:戸来-村田のバッテリー)
- JOBK(ラジオ)による実況放送開始

大正天皇の崩御の喪に服し、各大会は国旗に喪章をつけ地方大会、本大会とも応援は一切禁止との記載がある。(選抜大会とは限っていない)

昭和3年 1928年 (第14回全国中等学校優勝野球大会)

第14回全国中等学校野球大会東北大会(4回)(7月28日～8月7日：仙台宮城野野球場)



全国大会(阪神甲子園球場8月12日－22日)には福岡中が出場 (奥羽大会では八戸中が優勝)

1回戦

福岡中9－4 神奈川商工

八戸中0－5 平安中

3回戦

福岡中2－4 平安中

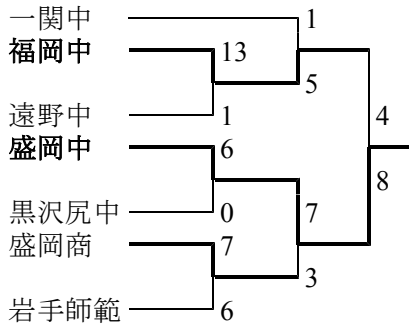
※出場選手数を14名に制限する。

昭和3年の第5回選抜大会に、福岡中が推薦されるが辞退する。

昭和4年 1929年 (第15回全国中等学校優勝野球大会)

第1回県下中等学校野球大会(7月25日～26日:盛岡中)

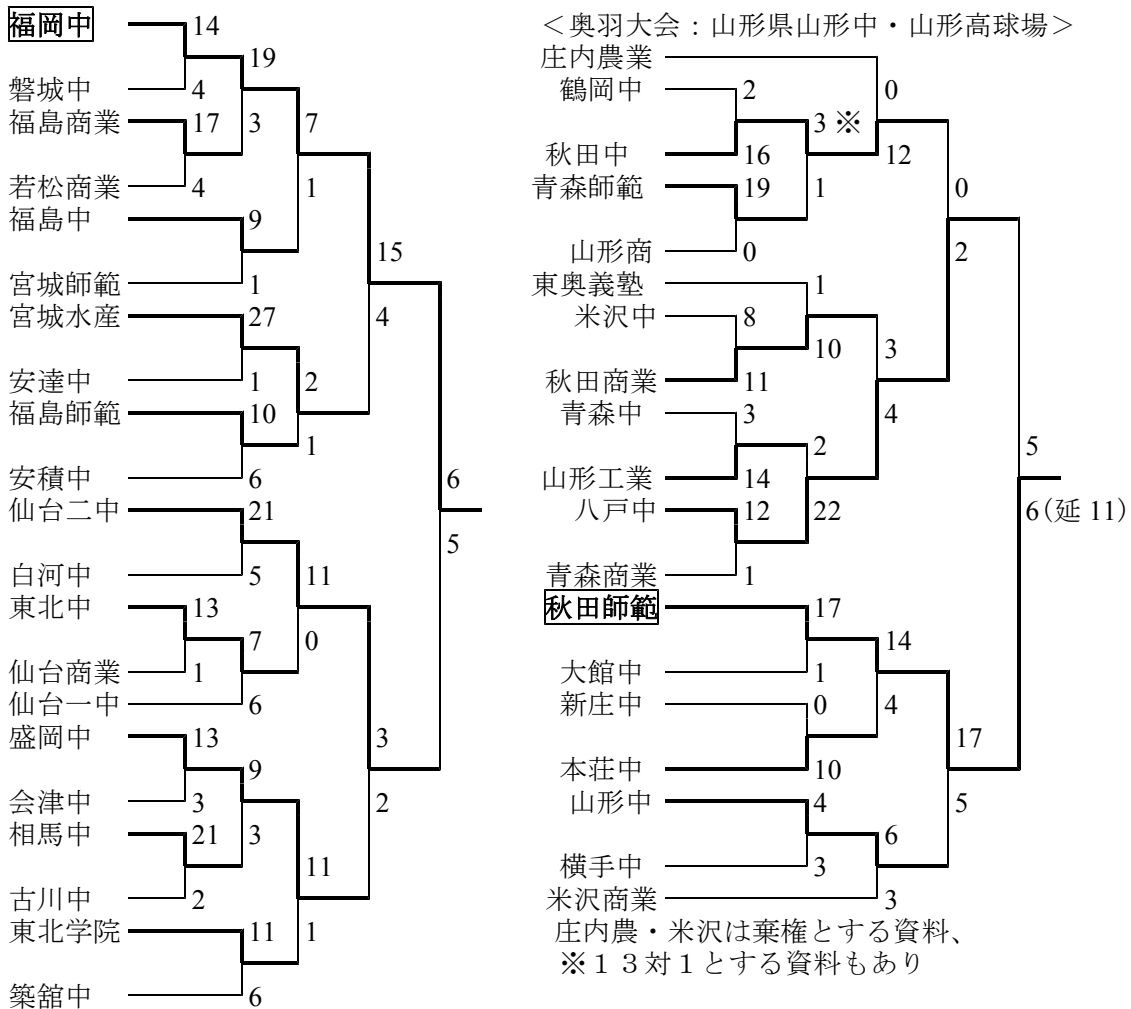
抽選会 7月24日午後7時:県公会堂



第15回全国中等学校野球大会東北大会(5回)(7月29日～8月3日:福島師範グラウンド)

岩手県予選の優勝準・優勝校(盛岡中・福岡中)が、宮城県福島県の予選会に出場

2回戦3回戦準決勝野前に抽選実施



全国大会(阪神甲子園球場8月13日～20日)には福岡中が出場(奥羽大会では秋田師範が優勝)

1回戦

福岡中5-12佐賀中

秋田師範0-12鳥取一中

※阪神甲子園球場にアルプススタンド完成

昭和5年 1930年 (第16回全国中等学校優勝野球大会)

第16回全国中等学校野球大会東北大会(6回)(7月29日～8月7日:盛岡中)
 岩手県で東北大会開催のため、岩手県大会は行われず。

<奥羽大会:青森県佃野球場>

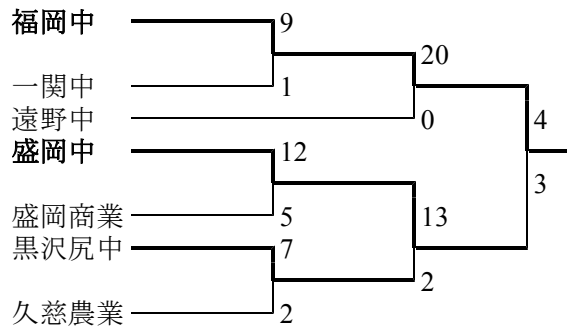


全国大会(阪神甲子園球場)には東北中が出場 (奥羽大会では八戸中が優勝)
 2回戦

- 八戸中 1 - 6 諏訪蚕糸
 - 東北中 3 - 2 水戸中
- 準々決勝
- 東北中 0 - 1 5 平安中

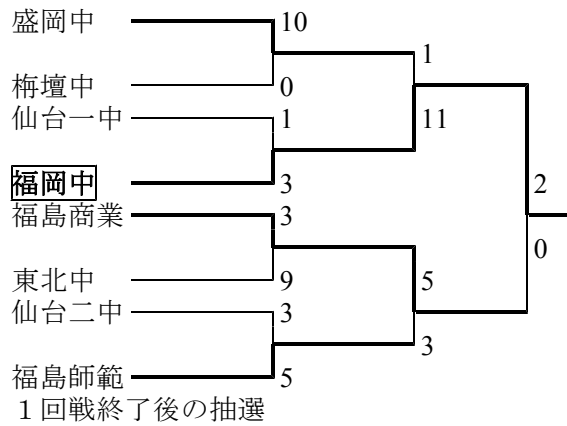
昭和6年 1931年 (第17回全国中等学校優勝野球大会)

第17回全国中等学校野球大会岩手県大会(第2回県下中等学校野球大会)
(7月25～28日：盛岡中)

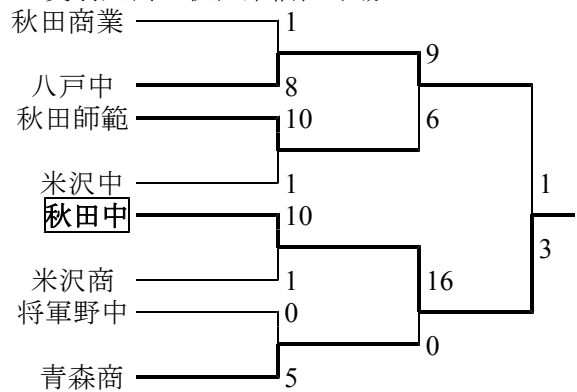


第17回全国中等学校野球大会東北大会(7回)(8月1日～8月3日)

福島県(福島市会場)、宮城県(仙台澱橋会場)とも県予選を行い、2代表(会場県は4代表)が東北大会に出場



<奥羽大会：秋田県檜山球場>



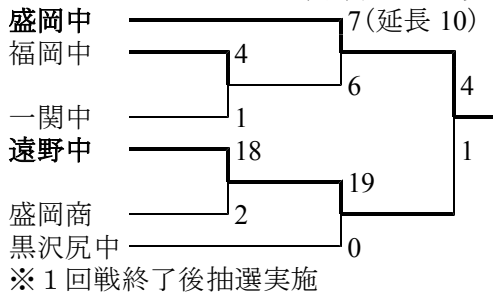
全国大会(阪神甲子園球場8月13日～21日)には福岡中が出場(奥羽大会では秋田中が優勝)

- 1回戦 秋田中6-0千葉中
- 2回戦 福岡中0-2桐生中
- 秋田中1-19中京商業

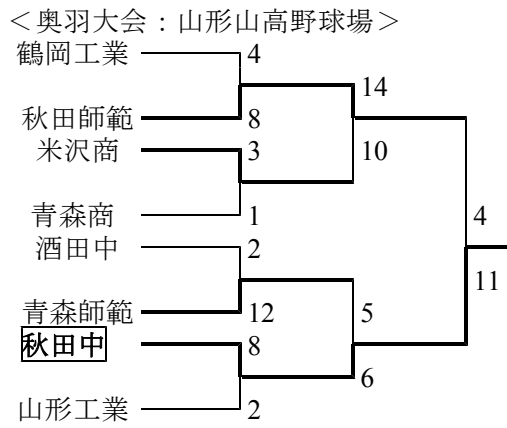
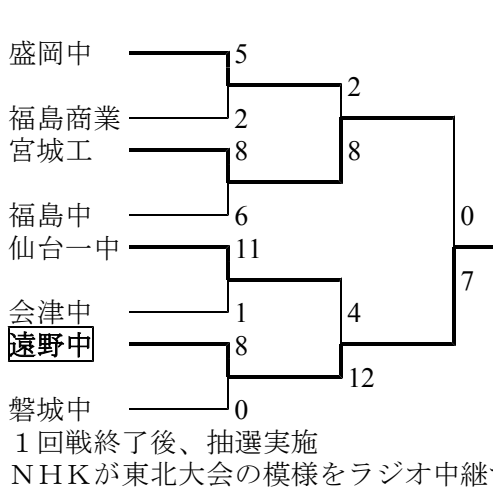
甲子園球場のアルプススタンドに屋根ができる

昭和7年 1932年 (第18回全国中等学校優勝野球大会)

第18回全国中等学校野球大会岩手県大会(第3回県下中等学校野球大会)
 (7月24日～26日：盛岡中) ※一次予選



第18回全国中等学校野球大会東北大会(8回) ※二次予選
 (8月1日～8月3日：福島市設・スポーツマン・安積中・神宮・麗山)

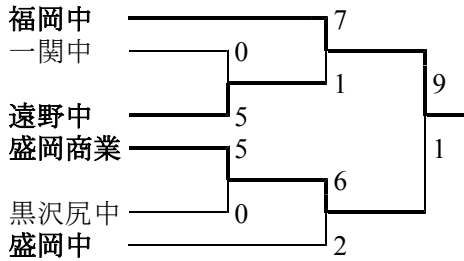


全国大会(阪神甲子園球場8月13日～21日)には遠野中が出場(奥羽大会では秋田中が優勝)
 1回戦
 遠野中4-2平壤中
 秋田中1-8早稲田実
 2回戦
 遠野中0-6長岡商

興行目的も含め野球全国大会が10程を数えたため野球統制令が発令され、中等学校の全国的大会の開催には文部省の認可が必要であること、選手資格、入場料などを定める。一次予選(都道府県大会)、二次予選(地域大会)制となり、都道府県大会が全国で行われるようになる。

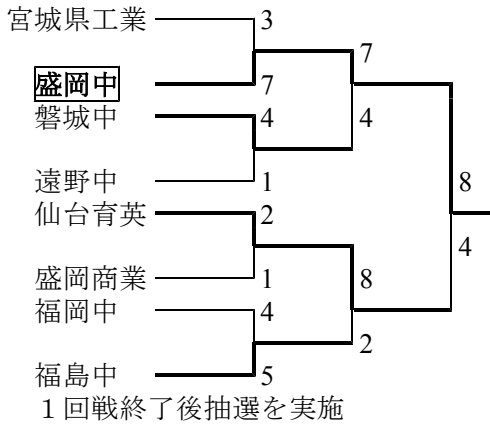
昭和8年 1933年 (第19回全国中等学校優勝野球大会)

第19回全国中等学校野球大会岩手県大会(第4回県下中等学校野球大会)
(7月23日～25日：盛岡中)一次予選



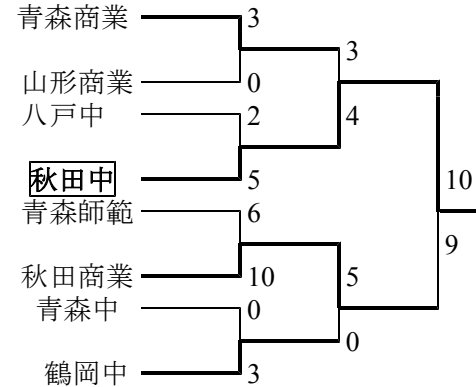
入場料を徴収(観客の整理が目的であった)大会3日間をとおして30銭であった。
この入場料は盛岡開催の東北大会にも適用された。
今大会から場内アナウンスが始まる。

第19回全国中等学校野球大会東北大会(9回) ※二次予選
(8月1日～8月3日：盛岡中)



1回戦終了後抽選を実施

<奥羽大会：青森佃野球場>



全国大会(阪神甲子園球場8月12日～20日)には盛岡中が出場(奥羽大会では秋田中が優勝)

1回戦

盛岡中 3 - 1 2 浪華商

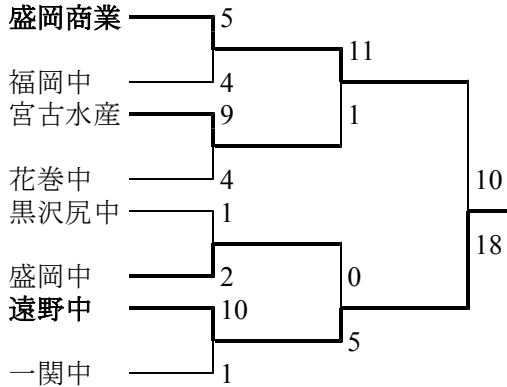
2回戦

秋田中 5 - 7 郡山中

昭和9年 1934年 (第20回全国中等学校優勝野球大会)

この年から、岩手県は奥羽大会、山形県が東北大会に地区変更

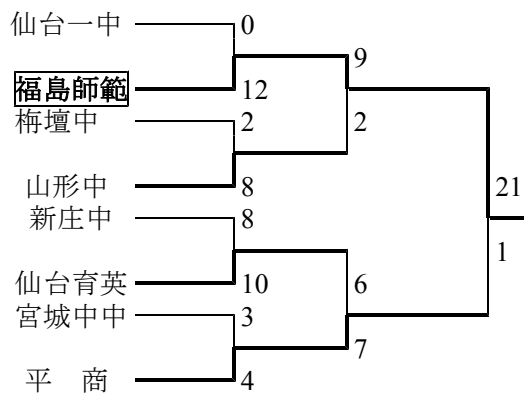
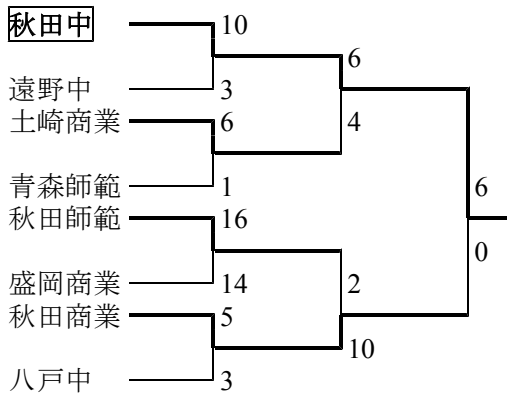
第20回全国中等学校野球大会岩手県大会(第5回県下中等学校野球大会)
(7月23日～7月27日 花巻球場(新設))※一次予選



抽選会は7月22日花巻温泉千秋閣大広間
23日24日25日は雨天中止

第20回全国中等学校野球大会奥羽大会(10回) ※二次予選
(7月31日～8月2日：秋田県茨島球場)

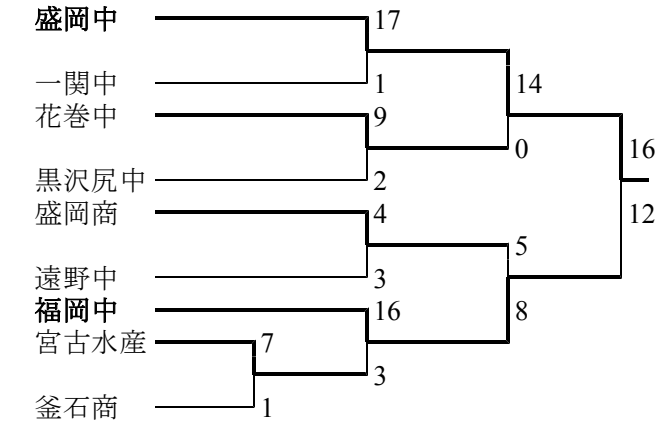
<東北大会：仙台澱橋球場>



全国大会(阪神甲子園球場)には秋田中が出場 (東北大会では福島師範が優勝)
2回戦 秋田中5-1福島師範
準々決勝 秋田中17-7敦賀商
準決勝 秋田中0-9呉港中

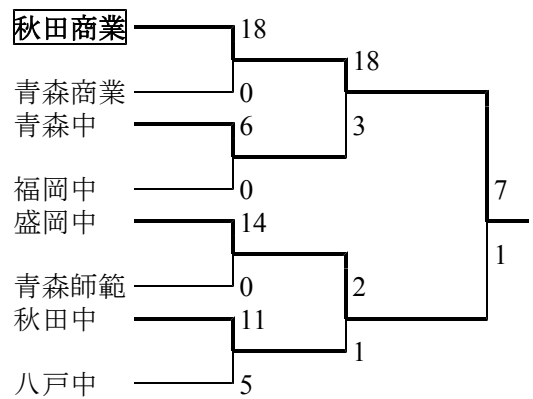
昭和10年 1935年 (第21回全国中等学校優勝野球大会)

第21回全国中等学校野球大会岩手県大会(第6回県下中等学校野球大会)
(7月23日～26日：盛岡中・高農)※一次予選

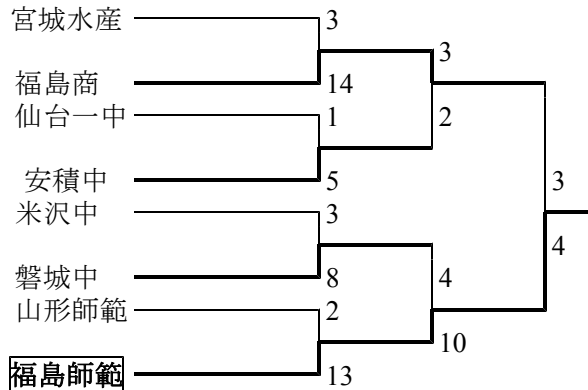


2回戦終了後抽選会を実施
決勝戦の前にベンチを決める抽選を実施

第21回全国中等学校野球大会奥羽大会(11回) ※二次予選
(8月3日～8月3日：青森市営球場)



<東北大会：福島市営球場>



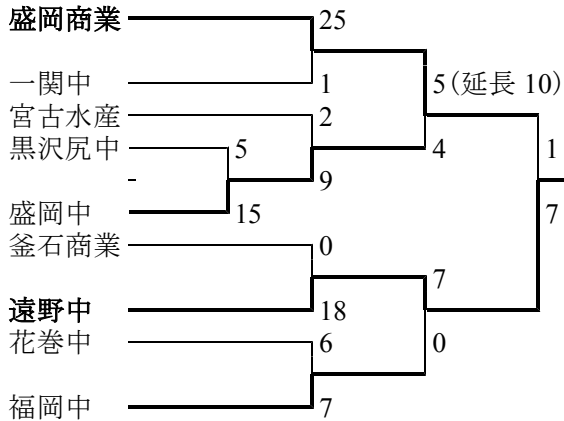
1回戦終了後抽選
全国大会(阪神甲子園球場)には秋田商業が出場(東北大会では福島師範が優勝)

- 1回戦 福島師範 1 - 3 日新商
- 2回戦 秋田商業 4 - 0 桐生中
- 準々決勝 秋田商業 2 - 5 愛知商

「大会行進曲」(作曲山田耕作 作詞富田碎花)が制定される。歌詞は「幻の歌詞」と呼ばれ全国大会では一度も歌われたことはない。富田碎花(1890-1984)は盛岡市生まれ(盛岡中)

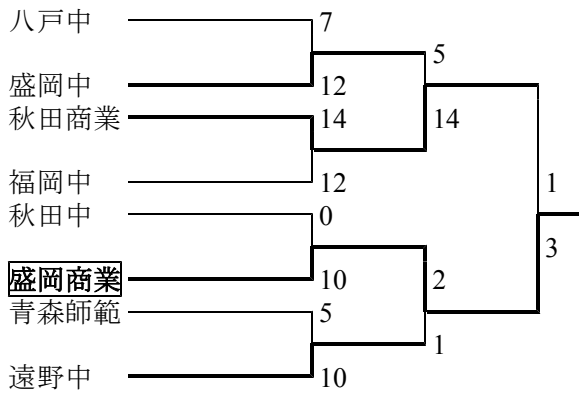
昭和11年 1936年 (第22回全国中等学校優勝野球大会) 岩手県高等学校野球連盟

第22回全国中等学校野球大会岩手県大会(第7回県下中等学校野球大会)
 (7月23日～25日：盛岡中)※一次予選



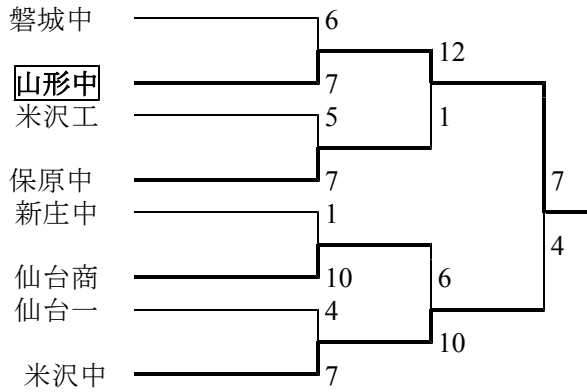
7月22日13:00より、県公会堂で抽選会
 2回戦終了後抽選を実施

第22回全国中等学校野球大会奥羽大会(12回) ※二次予選
 (8月1日～8月4日：盛岡中)



1回戦終了後抽選会を実施

<東北大会：山形中球場>



全国大会(阪神甲子園球場)には盛岡商が出場 (東北大会では山形中が優勝)

1回戦

盛岡商0 - 18 岐阜商

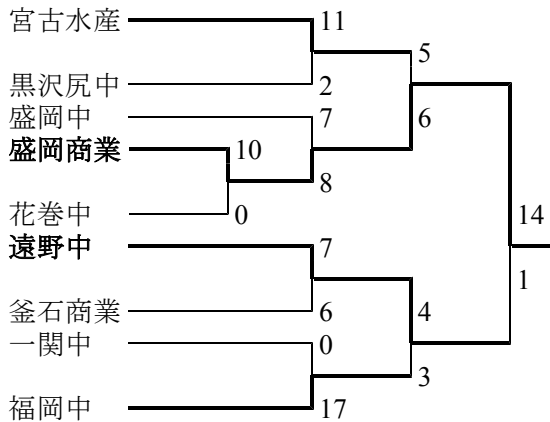
2回戦

山形中1 - 8 千葉中

甲子園球場に外野スタンドが完成し、完全なすり鉢状になる。

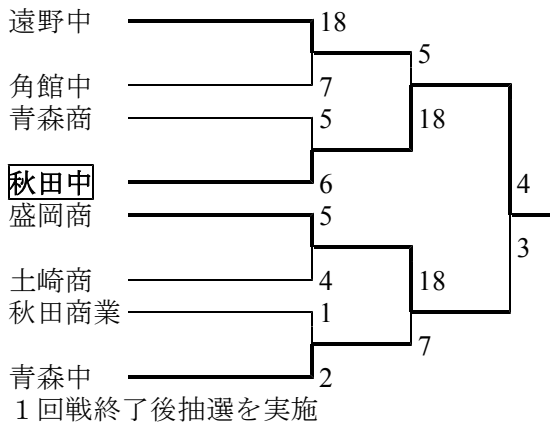
昭和12年 1937年 (第23回全国中等学校優勝野球大会)

第23回全国中等学校野球大会岩手県大会(第8回県下中等学校野球大会)
(7月25日～28日：花巻電鉄沿線球場)※一次予選



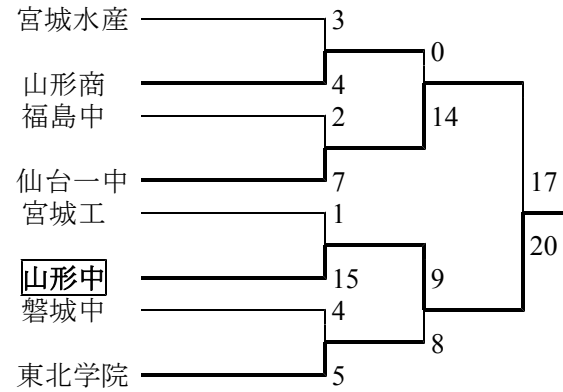
7月23日 13:00 花巻中にて1・2回戦の抽選を行う。
2回戦終了後抽選を行う

第23回全国中等学校野球大会奥羽大会(13回) ※二次予選
(8月1日～8月4日：秋田市茨島球場)



1回戦終了後抽選を実施

<東北大会：仙台澱橋球場>

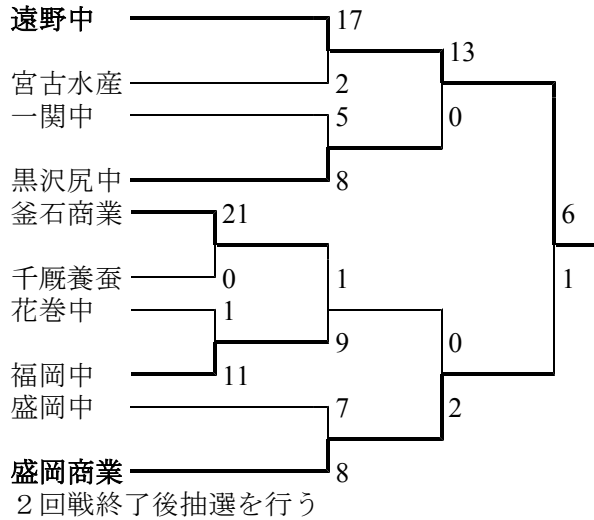


全国大会(阪神甲子園球場)には秋田中が出場 (東北大会では山形中が優勝)
2回戦

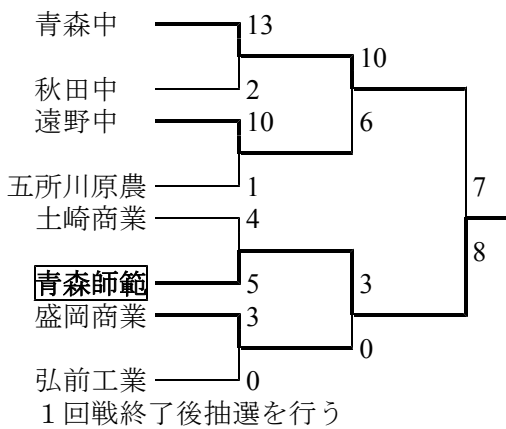
山形中 4 - 6 長野商
秋田中 5 - 13 滝川中

昭和13年 1938年 (第24回全国中等学校優勝野球大会)

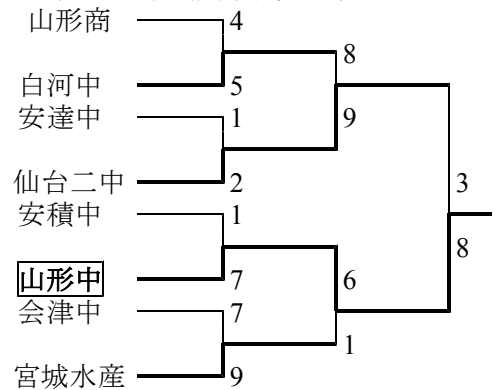
第24回全国中等学校野球大会岩手県大会(第9回県下中等学校野球大会)
(7月24日～27日：盛岡市営球場〔新装〕)※一次予選



第24回全国中等学校野球大会奥羽大会(14回) ※二次予選
(8月1日～8月3日：青森市沖館球場)



<東北大会：福島市営球場>



全国大会(阪神甲子園球場)には青森師範が出場(東北大会では山形中が優勝)

2回戦

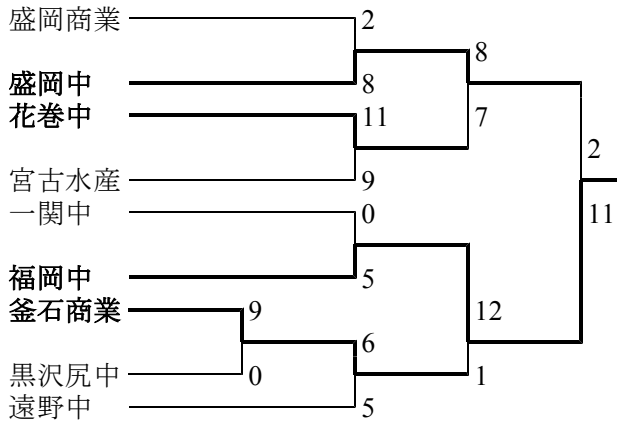
青森師範0-3鳥取一中

山形中0-10甲陽中

第15回選抜中等学校野球大会に北海中が出場する。北海道地区・東北地区から初出場
東北地区の選抜出場は、昭和30年第27回大会の一関第一が初である。

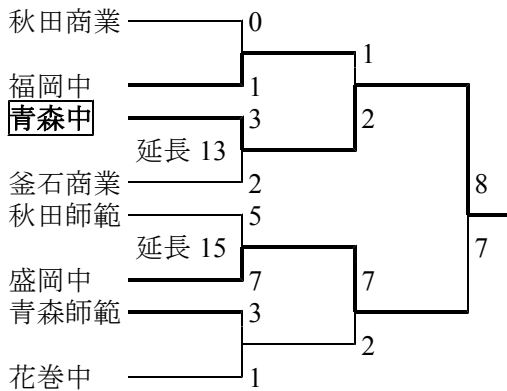
昭和14年 1939年 (第25回全国中等学校優勝野球大会)

第25回全国中等学校野球大会岩手県大会(第10回県下中等学校野球大会)
(7月24日～27日：盛岡市営)※一次予選

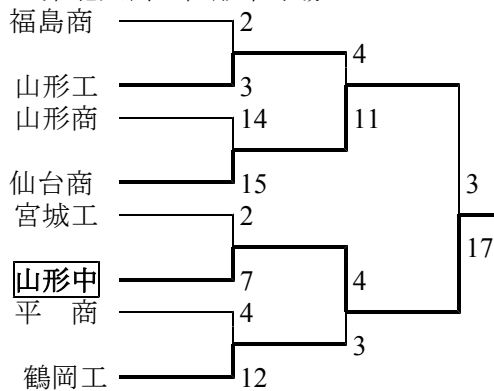


7月23日13：00岩手教育会館にて抽選会(決勝までの組合せを1回で抽選)
準決勝からラジオ中継される。

第25回全国中等学校野球大会奥羽大会(15回) ※二次予選
(8月1日～4日：盛岡市営球場)



<東北大会：山形中球場>



1回戦終了後抽選を実施

全国大会(阪神甲子園球場)には青森中が出場(東北大会では山形中が優勝)

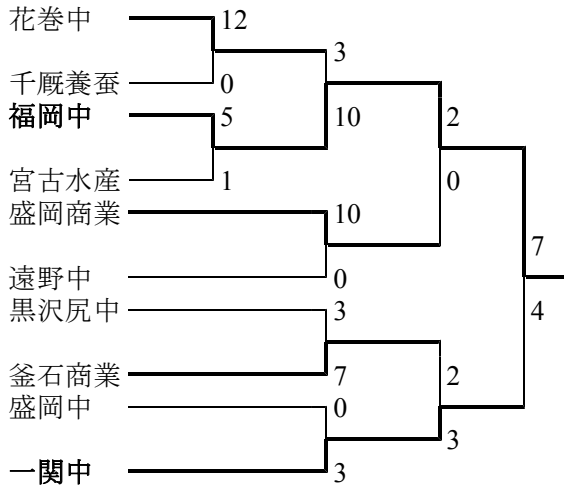
2回戦

山形中 2 - 9 高松商

青森中 5 - 10 早稲田実

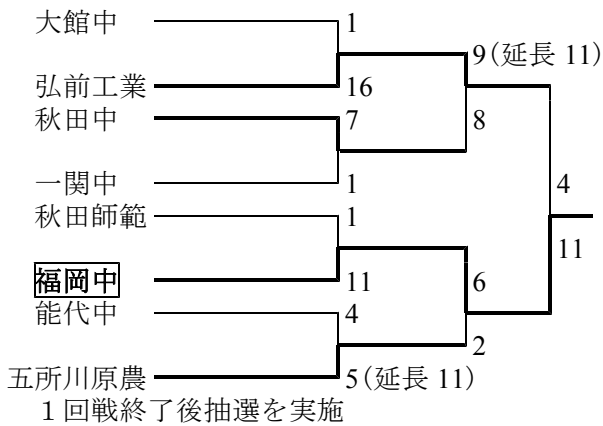
昭和15年 1940年 (第26回全国中等学校優勝野球大会)

第26回全国中等学校野球大会岩手県大会(第11回県下中等学校野球大会)
(7月25日～30日：盛岡市営・盛岡中)※一次予選



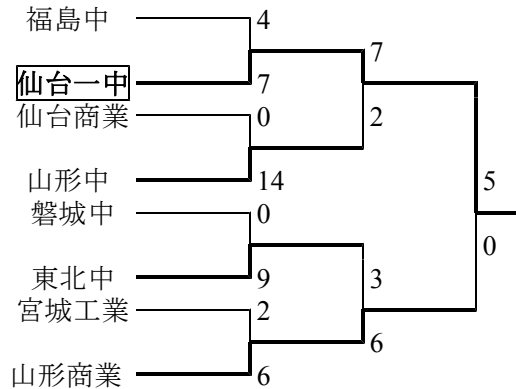
盛岡市営球場で実施の予定であったが、25日が雨のため、開会式(入場式)を午後に変更、会場も急遽2会場で行うことになった。

第26回全国中等学校野球大会奥羽大会(16回) ※二次予選
(8月2日～4日：秋田市八橋球場)



1回戦終了後抽選を実施

<東北大会：仙台澱橋球場>



全国大会(阪神甲子園球場)には福岡中が出場 (東北大会では仙台中が優勝)

1回戦

福岡中 0 - 6 高崎商

2回戦

仙台中 0 - 7 千葉商業

全日本中等学校体育競技総力大会の一部門として開催される。

開会式は全種目が合同で行われた。

昭和16年 1941年 (第27回全国中等学校優勝野球大会) 岩手県高等学校野球連盟

第27回全国中等学校優勝野球大会は中止。
一部地域では都道府県大会を開催、または開催中に中止としたところもある。

岩手県では一次予選は開催されていないと思われるが、記録が残っていないため詳細は不明。
青森県では青森工業が、山形県では山形商業が、宮城県では仙台二中が優勝している。

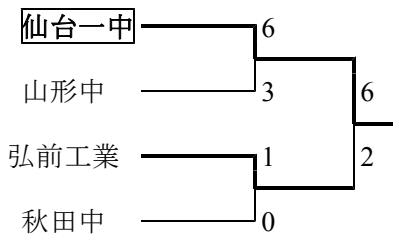
【青森県予選】	【山形県予選】	【宮城県予選】
①青森工 2 - 1 弘前中	①山形中 1 3 - 0 新庄中	①仙台商 2 5 - 3 東北学院
①八戸中 6 - 2 五所農	①鶴岡工 9 - 4 米沢商	①仙台一 1 8 - 2 梅壇中
準青森中 7 - 2 弘前工	①酒田商 1 0 - 9 山形工	準仙台二 1 1 - 2 宮城水産
準青森工 4 - 2 八戸中	①山形商 1 1 - 1 鶴岡中	準仙台一 1 2 - 0 仙台商
決青森工 5 - 4 青森中	準山形中 3 - 0 鶴岡工	決仙台二 3 - 1 仙台一
	準山形商 1 0 - 4 酒田商	
	決山形商 7 - 5 山形中	

奥羽大会・東北大会は開催されていないと思われる。
選手権は中止になったが、練習試合や定期戦は行われており、独自の大会や、秋季大会を開催したところもある。

昭和17年～20年 1942年～1945年

昭和17年～20年の4年間は現在の選手権大会に連なる全国大会は開催されていない。
ただし17年には文部省主催(甲子園球場を会場)で全国中等学校体育大会野球大会が開催されており、その予選である東北大会で仙台一中が優勝し全国大会に出場している。地区予選も行われたと思われるが詳細は不明。(岩手・福島は不参加と思われるが資料なく不明)※秋田県予選には八橋球場、鷹巣中・角館中・能代中・秋田商・本庄中・横手中・大館中・秋田中・大曲農が参加している。

東北大会



全国大会(8月23日～)

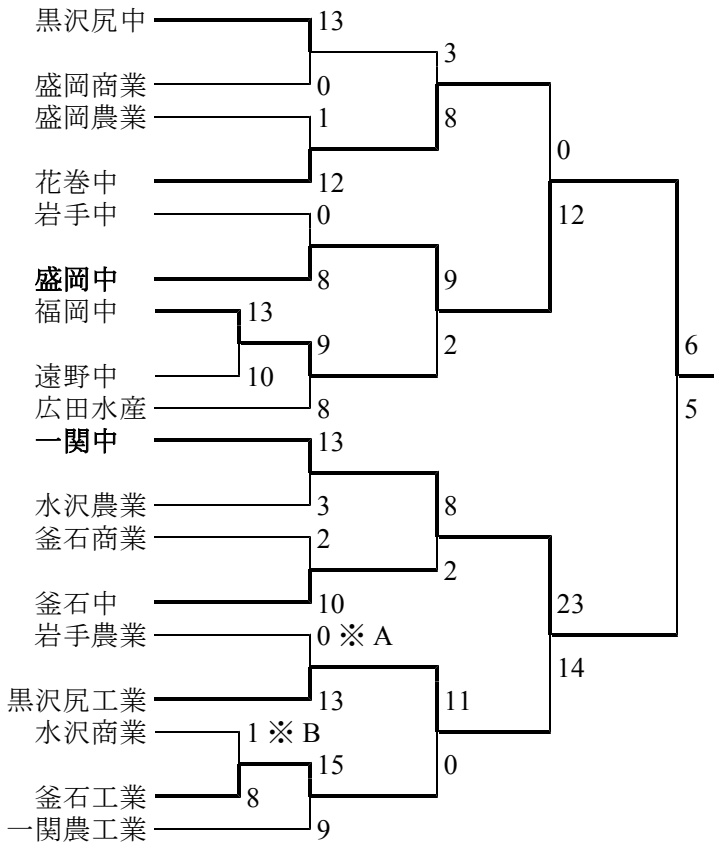
1回戦 仙台一中 3 - 2 大分商

2回戦 仙台一中 10 - 28 広島商

この大会は全国高等学校野球選手権大会として記録されていない。

昭和21年 1946年 (第28回全国中等学校優勝野球大会)

第28回全国中等学校野球大会岩手県大会
 (7月20日～24日：岩手医専グラウンド)※一次予選
 岩手県野球協会主催で開催された。



※ A 3回表岩手農棄権
 ※ B 水沢商0-7釜石工とする資料もあり。

第28回全国中等学校野球大会奥羽大会 ※二次予選
 (8月2日～3日：岩手医専グラウンド 抽選会7月28日)
 昭和21年から奥羽予選参加校が4校となる(開催県2)。



NHK盛岡放送局が3県に中継する

全国大会(阪急電鉄西宮球場)には一関中が出場(甲子園球場は米軍接收のため使用不可)
 (東北大会では山形中が優勝)

2回戦

一関中 4 - 1 1 鹿児島商

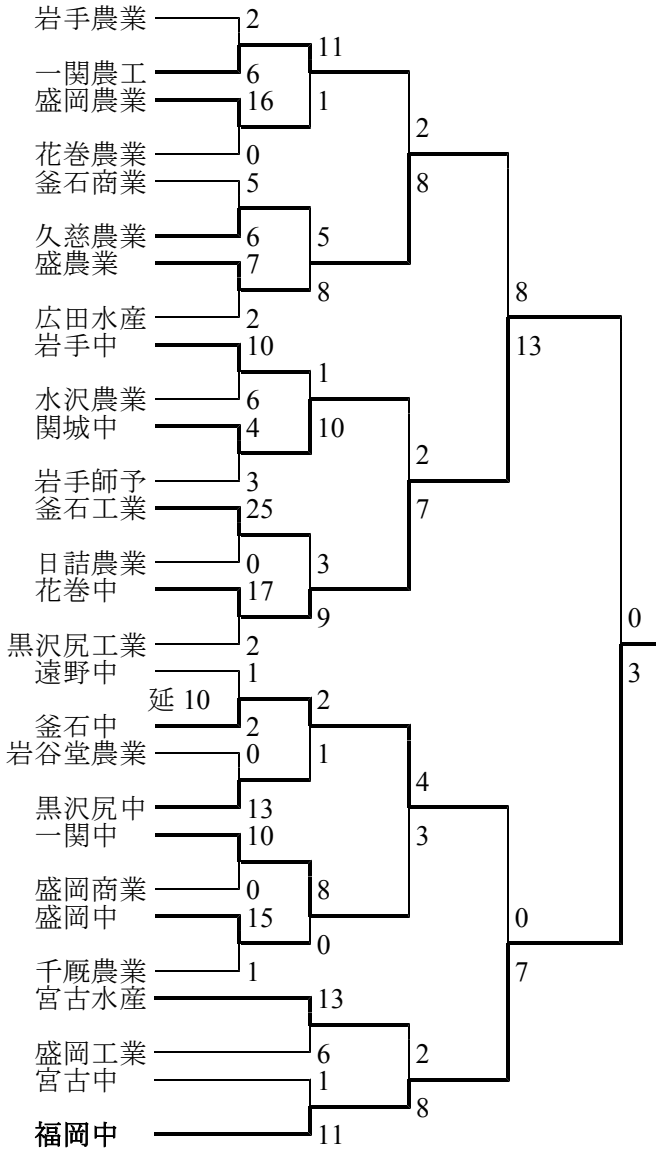
山形中 5 - 1 3 函館中

昭和22年 1947年 (第29回全国中学校優勝野球大会)

第29回全国中学校野球大会岩手県大会

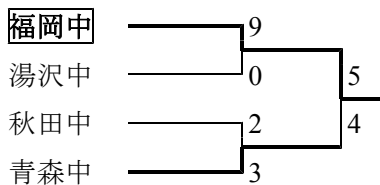
(7月24日～8月2日：盛岡市営・盛鉄球場・岩手医専グラウンド)※一次予選

開会式7月22日 15:00～岩手公園

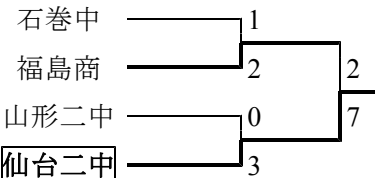


第29回全国中学校野球大会奥羽大会 ※二次予選

(8月8日～9日：秋田市八橋球場)



<東北大会：評定河原球場>



全国大会(阪神甲子園球場)には福岡中が出場 (東北大会では仙台二中が優勝)

1回戦

福岡中 8 - 7 谷村工商(延長 1 1回)

2回戦

福岡中 8 - 9 高岡商

仙台二中 4 - 2 浪華商

準々決勝

仙台二中 1 - 0 下関商

準決勝

仙台二中 2 - 6 岐阜商